

カナダ北極圏アムンゼン湾における *Calanus hyperboreus* (カイアシ類) の季節的鉛直移動

Seasonal vertical migration of *Calanus hyperboreus* (Copepoda) in the Amundsen Gulf, south-eastern Beaufort Sea

服部 寛 [1]; 三瓶 真 [2]; 真壁 竜介 [3]; 佐々木 洋 [4]

Hiroshi Hattori[1]; Makoto sampei[2]; Ryosuke Makabe[3]; Hiroshi Sasaki[4]

[1] 北東海大; [2] ラバル大・理工; [3] 極地研; [4] 石専修・理工・生物

[1] Hokkaido Tokai Univ.; [2] Quebec-Ocean, Laval Univ.; [3] NIPR; [4] Bioengineering, ISU

カナダ北極圏のアムンゼン湾において、海底から 100 m 上層に動物プランクトンの季節的上昇移動を採取できるトラップを 2003 年 10 月から 2004 年 7 月までの 280 日間設置した。この研究はカナダ主導の CASES 研究計画によって実施された。そしてこのトラップの設置目的は、季節的鉛直移動による上昇移動の季節変化を正確にらえることである。上昇移動は上記の期間、おもに 15 日毎に調べた。上昇移動の季節変化は、主に *Canakus hyperboreus* (カイアシ類) の生態により行われていて、その上昇は 1 月前からすでに開始され、その上昇個体は一日当たり 1.59 個体であったが、3 月になると 2.04 個体にまで達した。3 月の生態上昇個体のピークを過ぎると、*C. hyperboreus* の幼体 (ノープリウス) が多くなり、その移動は 1 日あたり 1.36 個体を示していた。これらの結果から、カイアシ類の成体の上昇は、これまで考えられていた時期よりも早い 1 月から 3 月にかけて行われ、次の世代交替は 4 月から始まることが明らかとなった。移動の時期や炭素量としてのこれらの移動が持つ意味について、下降動の結果と比較して検討する。